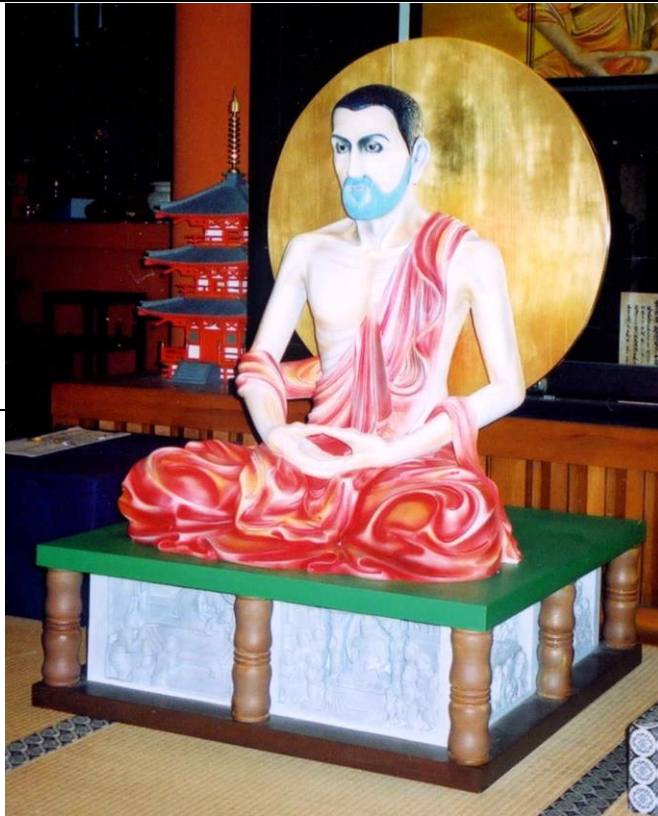


# 平等寺だより

## 釈迦像完成

### 丸子孝法



「托鉢をしても本堂を再建してくれ」と遺言された師匠も今年は三十三回忌。師匠との約束を達成すべく、平等寺再興にむけて

全国の皆様のご協力をいただき、寺族共々精進してまいりましたが、今春いよいよ二重の塔（釈迦堂）の上棟になります。

編集発行  
☎633-0001  
桜井市三輪 38  
三輪山平等寺  
TEL/FAX  
0744-42-6033

ご本尊の成道のお釈迦さまのご尊像も無事完成し、台座には釈迦八相図がりっぱに刻まれていきます。

平等で平和な仏国土建設のために命がけでご修行されたお釈迦さま、命の尊さにめざめよとされたお釈迦さまのみおしえを大切に実践してまいります。

本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。



### 平等寺の三仏忌

仏教の創始者がお釈迦さまであることは周知のとおりです。

お釈迦さまは神の子ではなく、人間の両親からお生まれになり、さまざま人間のな苦悩に育てられ、人間を完成されたのです。このお釈迦さまをおしたいする行事を『三仏忌』と申します。

#### 一、 四月八日

お釈迦さまの誕生日  
(降誕会、灌仏会)

花御堂を設け誕生仏をまつり、甘茶をおかけして祝います。平等寺では毎年

四月の第一日曜日に大護摩会と一緒につとめていきます。今年も六月になります。午前十時から稚児行列が出発し三輪の町を回ります。その後、東の不動堂にて大般若法要、十一時から境内にて大護摩平和祈願法要が行われます。もちまき、空手道場生の演武も

あります。

#### 二、 十二月八日

おさとの日  
(成道会)

菩提樹の木の下でおさとりを開かれたのを記念して行う行事です。平等寺では十二月一日より八日までは午前六時～七時、午後七時～八時に摂心（坐禅会）をしております。八日の午前の坐禅会が終わってから本堂にて成道会をつとめております。

#### 三、 二月十五日

亡くなられた日  
(涅槃会)

涅槃図をかけた「遺教経」（最後の説法を収めたお経）を誦授して、ご入滅をしのびます。平等寺では午前七時よりつとめております。

平等寺では今年も、『三仏忌』の行事を仏教徒の聖日として、皆様と一緒につとめます。

### 私達と坐禅

六月十五日に留学生が坐禅をしました。背筋を真っすぐにして呼吸を整える姿は、まさに仏さまそのものでした。

仏教を開かれたお釈迦さまは、坐禅をされることにより世界と人生の真の姿を悟り、人生に伴う苦と悩みを乗り越え、深い安らぎの生活を実現されました。仏々覚者（悟れる人）

▼ 読売新聞に掲載されました

となられたお釈迦さまは、その余生を苦と悩みにあえぐ人びとを安らぎの生活に導くために捧げられました。

仏教は仏の教えであるとともに、仏に成るための教えです。したがって仏教徒の願いは、仏さまに一步でも二歩でも近づくことを目指して生きることにあるといえましょう。お釈迦さまは坐禅をされることにより悟れる人

▼ 7/25 緑蔭禅の参加者と坐る子供たち

（仏）になられたのだから、お釈迦さま（仏）に近づいたための道は坐禅に徹する以外にはありえないと受けとめ、これを実践されたのが、道元禅師さまです。

道元禅師さまの坐禅は、しかし、坐禅をすることをもって悟りを得る手段であるのとらえないところに、その特色があります。道元禅師さまの坐禅は、

「人びとはみなお釈迦さまと同じ悟りをもともと具えているのだから、ひたすら坐禅をすることは、そのまま仏「お釈迦さま」を修行していることにほかならない」というものでした。

九月の彼岸会の法要にて方丈さんが壇信徒の皆さんに、「この中で坐禅をしたことのある方、手をあげてみて下さい」と尋ねられたところ、およそ六十五名いらっしゃった中で手をあげられたのは十五名ほどでありました。しかし、皆さんは、坐禅をしたことがなくても、お仏壇に手を合わせていらつしやることでしよう。

自分たちと仏さま、道元禅師さまはいったいどのような関係にあるのだろうか、疑問に思われる方もおられるでしょう。そう思われている方は、皆さんのご家庭にありますがお仏壇を見て下さい。

お仏壇の一番高いところにはご本尊の釈迦像

たは一仏両祖のお掛け軸が祀られていると思えます。その両脇か下段には皆さんのご家族か縁者の亡くなられた方々のお位牌が安置されているはず。さてお仏壇のなかに、皆さんの身内の亡き方々のお位牌と一仏両祖の御像とが一緒に祀られているという事は、何を意味するのでしょうか。

それは、亡き方々がお寺のご住職の導きにより「ほとけさま」ご先祖さまになられ、一仏両祖のお仲間になつておられることを意味しております。仏壇内の「ほとけさま」ご先祖さまは、一仏両祖のご庇護のもとに安んじておられるのです。

それでは壇信徒の皆さんはお仏壇にたいしてどのようにすれば坐禅に通じ、仏さま、道元禅師さまに近づけるのでしょうか。永平寺貫首の宮崎奕保

禅師さまは、こう述べておられます。「毎朝仏壇の前

に静かに端座し、体を真直ぐにしてお線香を真直ぐに立て、自分の鼻筋とお線香とお釈迦さまの鼻筋とが揃って真直ぐになるようにして、三分でも五分でも坐る。そして「ほとけさま」ご先祖さまに感謝の気持ち捧げる」(『道元禪師の願い』要約)。このようにしますと心が「ほとけさま」ご先祖さまを通じ

て一仏両祖につながるのです。道元禪師は「仏祖を仰観すれば一仏祖なり」(『正法眼蔵』「溪声山色」巻)とおっしゃっています。お仏壇をお参りする皆さんが、すでに仏さまなのです。

毎週日曜日の朝六時半より本堂地下の坐禅堂にて毎回五、六名の方が坐りにこられています。坐禅堂はいつでも開いていますので、遠慮なく坐りに来て下さい。

### 作務の日に思う

毎年恒例の作務の日に、

今年には六十名に及ぶ有志の方々が平等寺の隅々まで掃除して下さいました。暑さ厳しい中、ごくろうさまでした。汗だくになりながら黙々と草を刈り枯れ木を運び窓を拭く姿には胸を打つものがありました。

平等寺山門左には島津菊野さんから木材をいただき現住職が作成した、「身をけずり人につくさんすりこぎのその味しれる人ぞ尊し」と彫られた大きなすりこぎがあります。これは、大本山永平寺や総持寺にもあるものでして、すりこぎのように我を捨てて人に尽くす人になれるよう、そして相手の気持ち

を大切に作る人になれるよう修行に励みましようという意味があるのです。あの日一生懸命に作務に励んだように「自分が、私が」という思いを捨てて周りの人達を思いやるこ

とができれば、どんなに素晴らしいでしょうか。

### 永平寺参拝

七月三日四日の一泊二日で毎年恒例の本山研修会がありました。昨年は道元禪師の七五〇回大遠忌ということもあり、奈良県より八百名を超える参拝団でございました。

永平寺の大きな法堂もさすがに狭く感じるほどで、夏の暑さに加え、皆さんの道元禪師さんを慕うあたたかな気持ち相乗効果となり全員汗びっしょりになってお参りさせて頂きました。また今回

### 梅花大会

新たに後岡逸子さんが本山研修会五回目を迎えられるお袈裟を頂かれました。十月二十五日に毎年恒例の「奈良県梅花流詠讃歌奉詠大会」がありました。今回の参加者は、後岡繁子さん、辻本英子さん、日浦愛さん、師岡真由美さん、お寺からは、妙幸さん、美佐さん、奈優ちゃんでした。毎月のお稽古の甲斐あり、平等寺梅花講員の皆さんも年々上達しています。今回はとても良かったとの声もありました。

### 朝の大阪城

毎月十八日午後一時から本堂にて稽古しています。なごやかなサークル風の会ですので、興味のある方はぜひ一度参加してみ

て下さい。月参りの時に大阪の土田さんから「私は毎朝五時半に家を出て、大阪城の天守閣のところで行っているラジオ体操に行っている」という話を聞いていました。七月二十五日、美佐さんの祖母の葬儀をつとめ、高知県から夜行列車にて帰ってきましたら大阪駅についたのが午前六時。これはチャンスと思い、ダッシュで大阪城を駆け上がったところ、そこには話に聞いていたとおりの世界が。六時から集まった人達で歌を歌い、体操をし、詩吟に耳をかたむける・・・心と体にとってもいいことですよね。ぜひ皆さんも近所の公園で始めませんか？

### 法話

#### 「豊かさや便利さが幸せか」

三年前の暮れ、地球温暖化防止京都会議が開かれた。それぞれの国のかけひきもむなしく、二酸化炭素排出量削減の比率を統一することのできないまま幕をおろした。しかし、この会議が開かれたこと自体、世界にとって大きな第一歩であったと思えなくはない。

過去一万年間、地球の平均温度は十五度であった。それがこの数十年間にめまぐるしく上昇の一途をたどっている。その影響の一つとして南極の氷が溶け始めた。十分の一溶けたら世界中の海が七メートルも高くなるという。現在私達が生活している大地のほとんどが海の下へと沈む。

酸性雨の問題もまた大きな危険性をはらんでいる。四千六百年前に造られたスフィンクスが急にいたみだした。松は枯れ、地球全体が糖尿病のようになって活

性力が失われていく。またオゾン層破壊によって紫外線が増え皮膚癌がふえてきた。オーストラリアやニュージーランド、南アフリカ等の国々では、皮膚癌の患者数が十年前の十倍にまでなっている。車や室内クーラー、冷蔵庫などに使っているフロンガスという人間が造り出した物質は、四億

年もの長い時間をかけて形成されたオゾン層をわずかに削りだした物質は、四億

年もの長い時間をかけて形成されたオゾン層をわずかに削りだした物質は、四億

年もの長い時間をかけて形成されたオゾン層をわずかに削りだした物質は、四億



近くの獣医さんにみてもらったら紫外線による扁平上皮癌だという。幸か不幸か内臓への転移は見つからなう耳はない。これらの温暖化の問題、酸性雨の問題、オゾン層破壊の問題やダイオキシンの問題の原因はいったい何だろうか。はたして、その解決の道はあるのだろうか。

戦後五十数年、私達の生活は天と地ほど変わりまし

た。幼い頃洗濯板でゴシゴシやっていたが、今は洗濯機にほうりこむだけである。ビール瓶が十六本も入る大型の冷蔵庫の宣伝を見て驚

いた。すべてが、より豊かにより便利にという方向に動いていることは確かだ。豊かさや便利さが幸せと考

えているが、この豊かさや便利さの追求の裏で、確実に地球はむしばまれ、環境破壊をうみ出していること

### 年間行事予定

【一月】  
一〜三日 修正会

十三日十三時 初護摩会

【二月】  
三日 十時 星祭会

十五日 七時 涅槃会

【三月】  
二十一日十四時 彼岸会

【四月】  
六日 九時 大護摩会  
(花祭り降誕会)

【七月】  
上旬 本山研修会  
中旬 作務の日  
下旬 子供坐禅の集い

【八月】  
一日 九時半 最勝会

二十三日 十三時 地藏会

【九月】  
二十三日 十四時 彼岸会

【十月】  
下旬 梅花大会

【十二月】  
一〜八日 朝六時・晚七時  
撰心会並びに成道会

上旬 歳末托鉢行

二十一日十四時 終護摩会  
三十一日 除夜の鐘

### 月間行事予定

一・十五日六時 祝祷朝課

四〜二十九日 月仏参

二十四日十四時 水子供養

二十八日十四時 護摩会

(一・十二月は上記参照)

日曜日六時半 坐禅会

### まるが行く③

十月二十四日に生まれ  
たばかりの白っぽい猫が  
お寺に捨てられていた。妙  
幸さんが「チロ」と名付け  
たみたい。十一月二十五日  
には八年ぶりに大阪の内  
田さん家にいる母に会っ  
た。出会いと別れは自分の  
意志とは関係なく突然や  
ってくるんだワン。

### 三輪山裏

七月二十四日、寛仁に男  
の子、晴寛(はるひろ)が  
誕生しました。全ての人が  
我が子を思う親の気持ち  
で他人に接することがで  
きたらいいのになあ。まだ  
まだ寒さは続きます。どう  
ぞご自愛下さい。合掌